

学校だより



ながおか

令和6年3月19日発行 **No.13**

《学校教育目標》
心豊かにたくましく生きる長岡の子の育成

南国市立長岡小学校 ☎ 088-864-2309 FAX 088-864-2329

卒業式・修了式を迎えます

3月21日は卒業式、22日は修了式です。

6年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。長岡小学校のリーダーとして学校を支えてくれたことに心から感謝します。皆さんの活躍は、とても頼もしいものでした。どうか充実した中学校生活を送ってください。

2～5年生の皆さんは、それぞれの学年を修了することとなります。おめでとうございます。卒業する6年生の取組を引きつぎ、お友だちや先生たちと力を合わせて、さらによりよいものとしていきましょう。

保護者の皆さま、地域の皆さま、本年度も、学校の教育活動に対しまして、ご理解とご支援・ご協力を賜りましたこと、誠にありがとうございました。地域の学校として、今後ともよろしく願いいたします。

他者とかかわり・共に学ぶ

学年末を迎え、通知表「のびゆく記録」をお渡しする時

期となりました。「のびゆく記録」は、ペーパーテストの結果（認知能力 = 数値で測定可能）のみが反映されたものではなく、数値での測定が困難な能力（非認知能力）についても、お子さんの頑張りや成長をお伝えするものです。

OECD（経済協力開発機構）によると、「非認知能力」は、「社会情動的スキル」であると位置づけられ、次のように分類・整理されています（2021年）。

- 目標の達成 : 責任感・自己抑制
- 感情のコントロール : 楽観性・ストレス耐性
- 協働性 : 共感性・協調性
- 開放性 : 好奇心・創造性
- 他者とかかわり : 社会性・積極性
- 複合的な能力 : 批判的思考・自己効力感

「非認知能力」（社会情動的スキル）と、認知能力とは、相互に影響を与え合うものであるとされており、学校教育では、ともに大切にしているものです。

「非認知能力」のなかで、「協働性」「他者とかかわり」については、多様な他者と生活し、学習をする学校では、とりわけ大切にしなければならないものです。

本校では、学校生活全般において、特に特別活動や学校行事、生活科・総合的な学習の時間において、体験的な学びを充実させ、他者とかかわり、共に学ぶことに取り組んでいます。



1年生を招いてのおもちゃ祭り
(2年生 生活科)



米作り感謝祭
(5年生 総合的な学習の時間)



学校かくれんぼ
(6年生主催)

※裏面に続く

4月行事予定

日	曜	行事
1	月	学年始休業
2	火	
3	水	
4	木	
5	金	
6	土	
7	日	
8	月	
9	火	
10	水	新任式、始業式、入学式
11	木	2~6年給食開始 下校14:00 PTA役員会
12	金	下校14:00
13	土	交通少年団入団式
14	日	
15	月	
16	火	1年生給食開始
17	水	対面式 地区子ども会
18	木	全国学力・学習状況調査(6年) 標準学力調査(2~5年)
19	金	交通少年団
20	土	
21	日	参観日(PTA総会)※弁当日
22	月	代休(日曜参観日)
23	火	内科検診(1・3年) 児童質問紙オンライン調査(6年)
24	水	避難訓練
25	木	
26	金	
27	土	
28	日	
29	月	昭和の日
30	火	家庭訪問①(希望制) 下校13:30

小中高生コーナー

米粉作ってくれる人探しています
下村 優心 南国市長岡小5年

私たちが5年生はこの秋、お米を収穫しました。もみまき、田植え、稲刈りをクラスのみならず、JAの方々、身近な人に手伝ってもらい、たくさんのお米を収穫することができました。

そのお米の一部は販売していろいろなおうちの人が買ってもらいたいと思っています。

私たちは現在、残ったお米をどうするかを、クラスでチームに分かれ考えています。その一つに、「米粉パンを作りたい」というチームがあります。

いろいろな人に聞いたり調べてみたりしたのですが、お米を米粉にする方法が見つからず、とても困っています。5年生のうちに米粉パンを作って、食べてみたいのです。

そこで、私たちの作ったお米を米粉にしてくださる方はいませんか。長岡小学校までぜひご連絡をお願いします。

2023年12月7日 高知新聞

5年生の思い出が 下村 優心 南国市長岡小5年

私たちが長岡小学校5年1組は、自分たちが大切に育てたお米を米粉にし、米粉パンを作る取り組みをしています。お米を米粉にする方法が見つからず、以前「声ひろば」にどうしようとしたところ、たくさんの方からあたたかいお返事をいただきました。

そのおかげで今年に入り、米粉にすることができました。初めてお米から米粉にする作業は、ワクワクして夢中になりました。出来上がった米粉は真っ白くサラサラで、お米がこんなになると思わずびっくりしました。この経験を通して、お米は誰かが一生けんめい育てている、大切に作られていることが実感できました。

今回のパン作りの目的は、米粉パンのおいしさをたくさんの人に知ってもらい、米の消費量を増やすことです。私たちの力だけでは達成できなかったですが、ご協力いただいた方々のおかげで、想像がふくらむパン作りとなりました。

5年生の思い出として、いつまでも覚えていたいです。ご協力ありがとうございます。

2024年3月15日 高知新聞

テレビで放送されます。是非ご覧ください！

4年生の総合的な学習の時間の取組「いこいの庭 復活作戦！」が、テレビ高知「がんばれ高知eco応援団」(タイトル「自然環境をつくる」)で放送されます。是非ご覧ください。

放送日時：4月28日(日)11:00~11:20

※放送一週間前の21日(日)より、随時テレビ高知で番組CM(4年生による番組タイトルコールや内容紹介)が流されます。

「いこいの庭」児童が再生

南国市長岡小 池に魚放流 植樹も

南国市下末松の長岡小学校の4年生47人が、学童クラブの新設工事などで消えた校内の「いこいの庭」を復活させ、14日にお披露目式が開かれた。地元業者らの協力で老朽化したビオトープの池も再整備し、子どもたちの遊び場としてよみがえらせた。

「長岡小学校百年史」によると、庭は1971年、PTA活動の文部大臣表彰受賞を記念して造られた。当時の在校生の記憶では、体育館の南側にあり、「いこいの庭」と刻まれた石碑があった。ソテツが植わり、芝生が敷かれ、遊具も置かれていたという。

しかし、児童のけが防止や2021年度の学童クラブ工事のため、遊具は移設



復活した「いこいの庭」でくつろぐ児童 (南国市の長岡小学校)

姿は跡形もなく、存在は教職員にも児童にも徐々に知られなくなった。

児童たちは昨年4月、総合的な学習の時間に校内で荒れ果てた池と庭の石碑を発見。「池をきれいにして『いこいの庭』を復活させよう」と、池のある場所に庭を再生することにした。池には泥がたまり、水が抜けない。重い石碑も動かせない。困った児童たちが相談すると、地元の工務店や造園業者らが無償で手伝ってくれた。石碑の裏には「祝 いこいの庭復活」と新たに彫ってもらった。

完成した庭は約75平方メートル。池にはももとすんでいた魚を放し、周りにはベンチ3基を配置。座ったり寝転んだりできるように入工芝を敷いた。カフトムシがすみ、1年生に生活科でドングリを使ってほしいと、クヌギやコナラなどの苗木も植えた。

この日は先に立ち、児童たちが再生の活動を振り返った後、テープカット。地元業者や保護者らは、子どもたちが育てた野菜のピザで祝った。

谷岡あいかさん(10)は「みんなで協力して庭が復

2024年3月15日 高知新聞

活してうれしい。たくさん生き物がすんでほしい。彼末健一校長は「疑問から始まった子どもたちの願いがかなった。地域の人たちの協力に感謝したい」と話した。

(上野美由子)